

⚠ 取り扱い上の注意

- 用途以外の使用はおやめください。
- 破損した製品のご使用や改造は不測の事故につながる恐れがありますので絶対におやめください。
- 製品を転倒させたり強い力を加えたり衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
- 転倒の原因となりますので、フタを勢いよく開閉しないでください。また、フタを開いたままにしないでください。
- 転倒や変形の原因となりますので、製品に寄りかかったり、フタの上に物を乗せないでください。
- 転倒や変形、ケガの原因となりますので、フタの上に乗らないでください。
- 重量物が入っていても、やや強い風、台風や突風などの強い風により移動や転倒する場合があります。市販の紐、ワイヤーなどで固定してください。
- 暴風により前面フラップが開いて破損することがあります。南京錠で固定する等、ご対策ください。
- フタの開閉の際は、指や手を挟まないように注意してください。
- 小さなお子様がご使用になる場合は十分にご注意ください。本製品の取扱方法を理解した大人の指導のもと、転倒、指を挟まないようご注意ください。
- 窒息する危険があるため、お子様が中に入らないようご注意ください。
- 重い物を収納した状態で持ち運ぶと製品が破損します。移動は収納物を取り出した状態で行ってください。
- 加熱した鍋や湯沸かし等を置いたり乗せたりしないでください。
- 灯油などの引火性のある危険物を保管する際は、専用容器からの漏れがないかをよく確認し、取り扱いには十分ご注意ください。
- 灯油などの油類が製品に付着すると、製品が侵され、変形や変質の原因となります。付着した際は、必ずきれいに拭き取ってください。

設置場所について

- 転倒や変形の原因となりますので、水平で安定した場所に設置してください。
- 壁に傷がつかないように、壁から少し離して設置してください。
- 材料の性質上、直射日光の当たる場所、雨ざらしの場所での使用は劣化・変色を早めることになりますのでご注意ください。
- ストーブ、コンロ等、高温になる場所や火のそばに置かないでください。

商品性能について

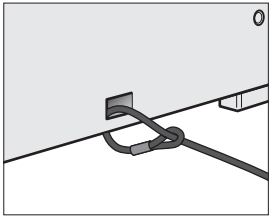
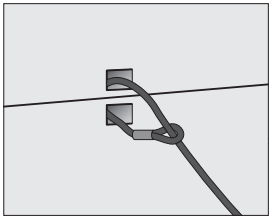
- 本製品は防水構造ではありません。雨ざらしになる場所でご使用されると、隙間から水が入り収納物が濡れますので、ご注意ください。
- 本製品は機密性はありません。
- 本製品に防犯装置は付属しません。市販の南京錠、ワイヤー等を活用して防犯対策をしてください。
- 鍵やワイヤーなどの固定具を使用する場合、接触部に傷が付く場合があります。使用するものの取り扱い方法をよくご確認の上、使用してください。
- 内容物の紛失、盗難、破損については、いかなる条件においても一切の保証はできません。

お手入れ方法

- お手入れの際は、２～３％に薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ軽く拭きとってください。
- 消毒液、アルコール（エタノール）や次亜塩素酸ナトリウム液もご使用いただけます。
- たわし又は、みがき粉でみがくと、傷が付くことがあります。

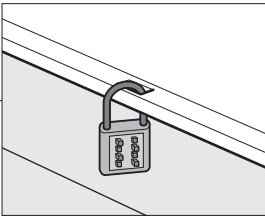
安全にご使用いただくために

●ワイヤーによる固定



○側面の穴の最小幅は 13 ミリです。
※穴の大きさに対して、十分に余裕のある太さの紐やワイヤー等をご使用ください。太すぎると穴を通らないことがあるため、ご注意ください。

●鍵などで施錠



○鍵穴の最小幅は 8 ミリです。
※穴の大きさに対して余裕のある太さの鍵をご使用ください。

※固定金具等(ワイヤー・鍵)は付属していません。
市販品をご使用ください。

- 製品サイズ：幅 85×奥行き 45×高さ 83,5(cm)
- 材質：ポリプロピレン
- 耐熱温度：100 度
- 耐冷温度：-20 度
- 底面耐荷重：72 kg
- 原産国：日本

- Size：W85×D45×H83,5(cm)
- Material：Polypropylene
- Heat resistant temp：100°C
- Cold resistant temp：-20°C
- Bottom load capacity：72kg
- Country of origin：JAPAN

販売元



岐阜市神田町 9 丁目 27 番地
www.risu.co.jp
RISU CO.,LTD.
9-27 Kanda-machi, Gifu-shi, Gifu,Japan

※製品仕様及び外観は改良のため予告無く変更することがあります。
※本製品は不燃素材ではありません。
※この取扱説明書は大切に保管頂き、必要な時にお読みください。

SOLOW 出し入れがスムーズな屋外ストッカー 250L

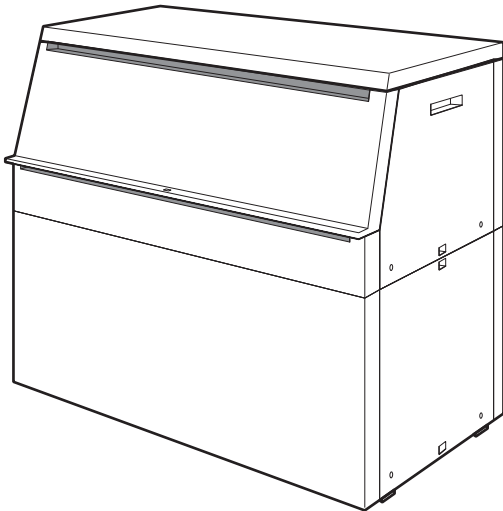
SUSTIMADE 屋外ボックス 250L

取扱説明書

完成図

※この度はお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

完成品イメージです。組み立ての際の参考にしてください。



SOLOW
組み立て動画



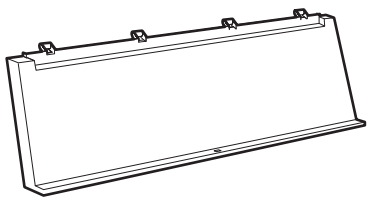
SUSTIMADE
組み立て動画

部品明細 ※はじめに部品が全部入っているか確認いただき、説明書の内容をよく理解していただいた上、組み立てを行ってください。

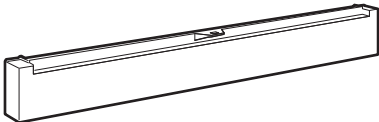
部品名称／形状	個数
A 天面フラップ	1個



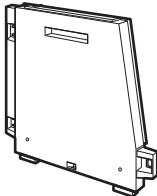
部品名称／形状	個数
B 前面フラップ	1個



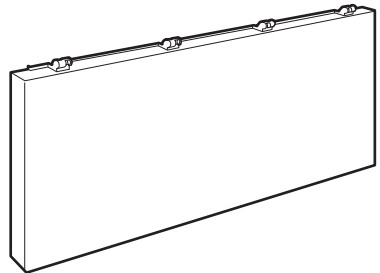
部品名称／形状	個数
C 前面パネル	1個



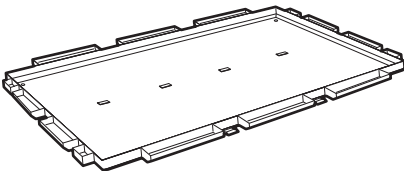
部品名称／形状	個数
D 傾斜パネル(左)	1個



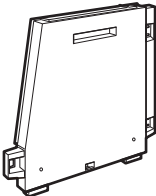
部品名称／形状	個数
E 長側パネル	3個



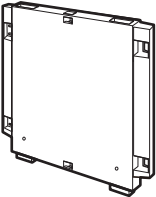
部品名称／形状	個数
F 底面パネル	1個



部品名称／形状	個数
G 傾斜パネル(右)	1個



部品名称／形状	個数
H 短側パネル	2個



組み立て方

- 床の素材や環境によって、床材を傷付ける場合があります。組み立てや移動の際は床が傷付くことがありますので取り扱いに注意してください。
- 組み付けの際、すき間に手を挟まないよう注意してください。また鋭利な部分がありますので手袋を着用するなど、注意して組み付けをしてください。

1底面パネルに短側パネルを組み付け 底面パネルと短側パネルを組み付けます。 ※パネルは手で保持したままにしてください。(転倒防止) ※短側パネルは凸部(2箇所)がある方が下になります。 ※底面パネルの短い側面がわ凸部に短側パネル下部の溝穴(片がわ4箇所)に「カチッ」と音がするまで奥まで差し込みます。(右左両がわを取り付けます。) ⚠組み付けは短側パネルの方です。 誤って傾斜パネルの方を組み付けた場合、 取り外すことができません ○短側パネル ✕傾斜パネル 詳細 H短側パネル F底面パネル 凸部 H短側パネル 注) 短側パネルを取り付けた状態で大きく力を加えないよう注意して作業してください。 破損の原因になります。	2長側パネル(正面・背面)の組み付け 長側パネルを正面がわ・背面がわに組み付けます。 ※パネルは手で保持したままにしてください。(転倒防止) ※長側パネルは凸部4箇所ある方が上になります。 ※底面パネルの長い側面がわ凸部に長側パネル下部の溝穴を差し込みながら、同時に短側パネルの前方または後方の凸部に差し込み、3辺を「カチッ」と音がするまで奥まで差し込みます。(正面・背面の両がわを取り付けます。) 詳細 E長側パネル 凸部 H短側パネル H短側パネル F底面パネル E長側パネル 参考) 組み付けにくい場合、本体を横に倒し長側パネルを上から被せるようにして、 取り付け穴の位置を合わせ「カチッ」と音がするまで押して差し込みます。	3傾斜パネル(右側面・左側面)の組み付け 短側パネルの上部に傾斜パネル(上段)を組み付けます。 ※パネルは手で保持したままにしてください。(転倒防止) ※傾斜パネルは凸部(2箇所)がある方が下になり、傾斜面がある方が前になります。 ※傾斜パネルの凸部(片がわ2箇所)を短側パネル上部の凹部に差し入れ「カチッ」と音がするまで奥まで差し込みます。(右左両がわを取り付けます。) D傾斜パネル(左) G傾斜パネル(右) 傾斜面 凸部 H短側パネル E長側パネル H短側パネル 注) この段階で接合部がしっかり隙間なく組み付けができているか確認してください。 しっかり組み付けられていない場合、次の工程が上手く組み付けできません。	4長側パネル(背面がわ)の組み付け 背面がわの下段長側パネルの上に長側パネル(上段)を組み付けます。 ※パネルは手で保持したままにしてください。(転倒防止) ※①長側パネル下がわ凹部を、下段の長側パネル凸部に少し斜めにした状態で差し入れます。 ※②差し入れた状態で両端を傾斜パネルがわに立ち上げ傾斜パネル後方の凸部に差し込み「カチッ」と音がするまで奥まで差し込みます。 E長側パネル G傾斜パネル(右) H短側パネル D傾斜パネル(左) E長側パネル H短側パネル
5前面パネルの組み付け 正面がわの下段長側パネルの上に前面パネル(上段)を組み付けます。 ※パネルは手で保持したままにしてください。(転倒防止) ※①前面パネル下がわ凹部を、下段の長側パネル凸部に少し斜めにした状態で差し入れます。 ※②差し入れた状態で両端を傾斜パネルがわに立ち上げ傾斜パネル前方凸部に差し込み「カチッ」と音がするまで奥まで差し込みます。 ※本体容器がわの完成。(必ず組み付箇所が止まっているか確認してください) D傾斜パネル(左) G傾斜パネル(右) C前面パネル H短側パネル E長側パネル 注) この段階で接合部がしっかり隙間なく組み付けができているか確認してください。 しっかり組み付けられていない場合、次の工程が上手く組み付けできません。	6天面フラップと前面フラップの組み付け 天面フラップと前面フラップを組み付けます。 ※天面フラップを裏向きに床に置きます。 ※天面フラップの長い側面がわのU字凹部に前面フラップ凸部を90度にした状態で合わせます。 ※端から①と②の部分を同時に押し込み、前面フラップの凸部を順番に差し込んでいきます。 ※前面フラップが固定できているか・問題なく動くか確認をしてください。 ⚠※必ず①部を強く押し込みながら 同時に②部を押し込んでください。 (裏面) B前面フラップ 表を向けて 容器本体へ 被せる ※押し指が痛い場合は、 ドライバーの柄などで 押してください。 ※切り欠きがある方が 背面側になります。 結合部 凸部 凹部 (裏面) A天面フラップ A天面フラップ 背面側 容器本体 背面側上部凸 はめ込みイメージ 断面図 天面フラップ 容器本体 軸部が少し出る 天面フラップ 容器本体 押し込んで はめ込む ※容器本体背面がわ上部凸が隠れるまで、はめ込みます。	7天面・前面フラップを本体容器へ取り付け 天面・前面フラップを容器本体へ取り付けます。 ※天面・前面フラップを容器本体に載せます。(固定されませんので手で補助してください。) ※①フラップを開いた状態で背面がわの天面フラップ部裏面の凹部を容器本体(長側パネル上部)凸部に位置を合わせます。 ※②天面フラップ本体がわの接合部上部を、上から背面がわへ斜めに押し込むイメージで端から順に1箇所ずつゆっくり押さえて奥まではめ込みます。 A天面フラップ 容器本体 背面側	8フラップの開閉確認～完成 フラップの開閉がスムーズにできるか確認。 ※前面フラップ下に手をかけ、上に持ち上げ背面がわに押して開きます。 ※閉じる際は手前に引き、ゆっくり前がわに下ろし閉めます。 ※何度か開閉確認をしてください。 A天面フラップ B前面フラップ G傾斜パネル(右) C前面パネル D傾斜パネル(左) ※最後に組み付けが正しく出来ているか確認して完成です。 ※ご使用の場所に設置し、裏面の本体の固定説明を確認の上ご使用ください。